

【事業概要】

・本箇所は経年劣化により、下側のモルタル吹付部と上側のコンクリート擁壁部の安全が確保できないことが判明しました。このため、下側はモルタルを再施工し、さらに法枠で押さえる工法を採用し、上側の既設擁壁はアンカーで固定して安定を図ることとしました。

この工事で、経年劣化した法面の危険性が解消され、今後も地域の皆様の生活を支える重要な路線として、また、地域の観光資源を結ぶ観光道路として機能することが期待されます。

- ・事業着手 平成28年度
- ・事業完了 平成30年度11月（予定）
- ・計画内容 法面工 L=150m

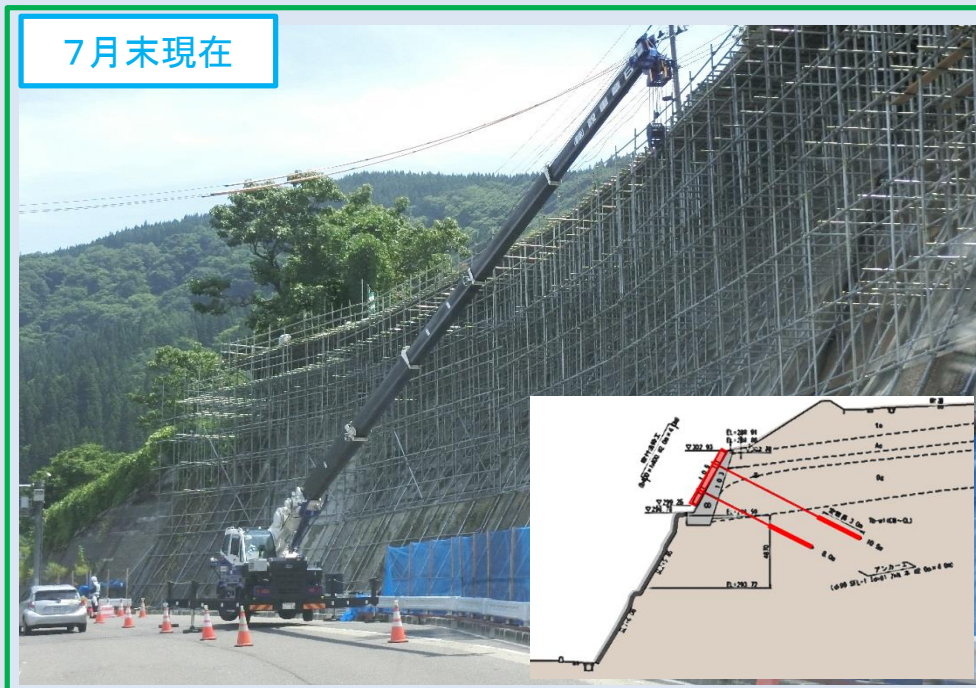
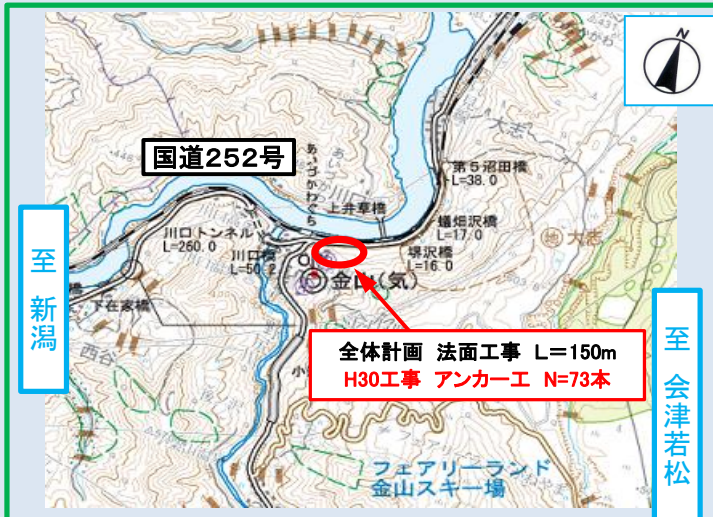
【平成30年度の工事内容】

- ・アンカー工 N=73本

【現場のポイント】

・本箇所は国道252号と国道400号が交差する交通の要所であり、また、付近は各種工事が行われていることから大型車両の往来が多くなっています。このため、本工区では交通管理に細心の注意を払い、円滑な交通の確保に留意した工事を行っています。

また、法面工事は高所作業となることから安全を第一に考え、構造的に堅固な足場を採用したり、施工中の第三者事故を防止する簡易柵を設置するなど施工中の安全にも配慮しています。



下側の法枠工事は、昨年度末に完了しました。今年度は上部の擁壁にアンカーを施工して法面全体の安定を図ります。

現在はアンカーを施工するための「足場」を組み立てています。

